

笑顔



神埼小学校 6年
内川 にこる さん

私の好きな漢字

私が笑顔にした理由は、どんなことにも笑顔で挑戦し、小学校最後の1年間をにこにこで卒業したいからです。
私はバスケットを習っています。バスケットでは笑顔でプレーをするということを目標にしています。失敗をしてもいいから自信をもつて笑顔で取り組んだり、友達と遊ぶときも笑顔で遊んだり、どんなことにもにこにこで取り組みたいです。

◆◆文芸コーナー◆◆

◆俳句（ひしの実句会）

故郷の近付けるかに夏来る
香月富士雄

隣家の
解けて五月の真空かな
牟田口則子

柿の花三十分の散歩かな
井上 豊美

机にて見送る電車五月晴
田原 静子

若葉風厨の窓の広さかな
畑石 勝子

夏始め北の大地の一步かな
牟田 鶴美

◆川柳（あおば会）

夏の月
輝いていると電話くる
眞島 永治

グラウンドゴルフ
競技にみる鯨
柳郷 勝吉

かぐや姫
地球ながめて愛あり
島 信秀

血圧がドンピシャ
飯が旨い朝
佐藤久仁子

忙しく
生きて夫婦で炊事する
眞島 壽子

週一の百歳体操元気で
前田 久子

夏休み孫と遊んで認知予防
馬渡 栄子

明日もまた
行く場所あれば頑張れる
吉岡 明美

◆短歌（神埼短歌会）

先立ちし笑顔の夫に今朝もまた
お茶をどうぞと共に飲んだり
田中 と代

老いし夫悪妻あんじ今日もまた
土砂降りのなか病院へ来る
羽野 智子



人のうごき【令和8年5月末現在】

- 人 □：29,816人
（対前月－13人）
（男性／14,376人 女性／15,440人）
- 世帯数：12,717世帯
（対前月＋11世帯）



今月の納期

- 固定資産税（2期）
 - 国民健康保険税（2期）
 - 下水道使用料（5～6月分）
- ※使用人員の確認をお願いします



市の広報番組

- 「よかね神埼」
ぶんぶんテレビの14分番組
月・火・木・金・日曜日
12：30～、21：30～
※番組編成により放送時間が変わる場合があります

きらり輝く 神崎人 Vol.11 かんざきじん

神崎のまちで、
きらりと輝く活躍をされている
方達を紹介します。



神崎歩こう会代表
まつなが ひろまさ
松永 久光 さん

神崎の魅力を再発見

―歩いて、笑って、心も体も健康に！―

神崎のまちや自然をめぐるウォーキングの会として、約20年にわたり市民に親しまれてきた「神崎歩こう会」。その代表を務めるのが松永さんです。

この会のテーマは「健康寿命を伸ばすこと」。体を動かす効果はもちろん、「知らない道を歩くと脳が活性化する。おしゃべりも幸せホルモンを増やしてくれる」と話す松永さん。ゆめさが大学で編集した「そーつくマップ」を活用し、コース選定は下見を重ね、小さな神社や知られざるスポットを丁寧に掘り起こすのもこだわり。「仁比山神社の境内に水鏡があることも、実際に足を運ぶまで知らなかったんですよ！」と目を輝かせます。車では通り過ぎてしまうような場所も、ゆっくり歩くからこそ出会える。神崎には知られざる魅力がまだまだ眠っているといいます。

現地では、松永さんのプチ歴史講座と軽妙なユーモアが定番となり、参加者の「楽しかった！」の聲が何よりのやりがいだといいます。「おしゃべりしながら歩いて笑う。こんなに楽しくて健康にいいことは、なかなかないです

よ」と笑います。

活動は真夏を除く年11回の開催で、当日参加も歓迎しています。地域の伝統芸能・高志狂言の応援ウォークも計画するなど、まちの文化と歩くことを結びつけた企画も行っています。

元氣なシニアの姿を地域に広げたいという思いを胸に、松永さんは今月も集まった人とともに神崎の道を歩きます。「動きやすい格好と歩きやすい靴で、ぜひ気軽に参加してみてください」と笑顔で話してくれました。



ゆめさが大学のホームページでご覧いただけます

市長コラム

多くの気付きを いただいた 6月定例会

去る6月26日、令和8年6月神崎市議会定例会が閉会しました。選挙後、初めての定例会ということと、執行部も、議員の皆さんも、少し緊張感が伝わってくるような議会となりました。中でも、本会議場における一般質問は、市政全般について市長を含む執行部と議員との政策議論の場であり、毎回、緊張感を持って真剣勝負の議論がなされます。

今議会では、大雨対策や熱中症対策の取組内容をたずねる質問、あるいは、AI導入による業務効率化や子育て支援策の充実を求める質問など、多岐にわたる質問が出され、議員の皆さんから示唆に富むご意見をいただきました。今回、私を含め、執行部が反省すべきだと思ったことが2つあります。

1つは、佐藤知美議員が質問された「右原団地の維持管理」の件です。「団地内に植栽された樹木が大きくなり、日差しを遮るどころか、ベランダに枝が入り込み、生活への支障が出ている、このことにどう対応するか」という質問に対して、担当課との事前打合せでは、「日々の維持管理は自治会で対応してもらっているが、自治会で難しいものについては市で対応することになる。ただ、他団地も同じ状況なので来年度まで待つてもらおうことになる」との説明を受け、正直愕然としました。「市



神崎市長
實松 尊徳

民目線で考えて欲しいと言っていたことはどうなったの？」と、私の考えが職員に浸透していないことに気づかされ、大いに反省しました。また、増田紀之議員が質問された「高齢者のゴミ出し方法の見直し」の件も、私は早急な見直しが必要と考えましたが、担当課では、市の費用負担増などを理由に検討が進んでいないことが分かり、改善に向けた議論をするよう、明確に指示を出す必要があったと反省しました。

昔から、意識改革は簡単ではないと言われていますが、神崎市の更なる発展のためには、職員の力が必要で、今後は、粘り強く「職員の意識改革」に取り組みること、「神崎市に生まれ育って良かった」と言ってもらえるまちづくりを推進してまいります。

市長交際費の公表

令和8年5月分

項目	件数	支出額(円)
弔慰	0	0
御祝	0	0
激励	0	0
会費	0	0
見舞い	0	0
その他	1	9,583
計	1	9,583